

農業資材 EXPO (アグリテック) 盛況開催中

10月12日～14日まで、幕張メッセ（千葉県）でアグリビジネス・園芸関連の展示会が開催されている。農業ワールド2016として農業資材 EXPO、次世代農業 EXPO、そして初回となる6次産業化 EXPO と農業関連では国内最大級の展示会となっており合計730社もの農業資材関連会社が出展、うち新規出展は230社を数え、回を増すごとに出展社数も増加している。その中で昨年に引き続き当社も第6回国際農業資材 EXPO (アグリテック) 内に、関連各社と共にブースを出展している。今回の農業資材 EXPO の出展社数は370となり、包装・物流資材、鳥獣害対策、畜産資材、農業機械、施設園芸資材、肥料・培土のブースで展開されている。今回も中国、韓国、台湾等近隣諸国からの出展が増加している。来場者も国内・海外問わず増加し、会場直後から場内は大変賑わっていた。昨年と同様、ITを活用した機械類・植物工場、ドローンなど進化した農業機器を中心に新たな農業利用についてのセミナーが開催され、参加者の熱心に受講している姿が印象的であった。

今回は6次産業化や農業法人に関係する新たなブースが目立ち、アグリビジネスとして注目されている様子が伺える。当社展示ブースの特徴として、肥効調節型の被覆資材をメインとした省力化肥料と高機能水稻培土を中心に担い手の作業軽減を目的とした資材を展開し、電磁機器（サイネージボード）を活用してリアルタイムな農業情報を発信しながら来訪者へのPRを行っている（右写真ご参照）。初日午前中だけでも従来から取引のある得意先様だけではなく、中国・韓国・インドなど諸外国の来訪者も多く当社ブースにお立ち寄り頂いている。来訪者が関心を示す事としては安心・安全で高品質な日本国産の資材を求める声が多い。

EXPO は14日（金）まで開催されているので、関心のある方は最新の農業事情を肌で感じる為にも会場へ足をお運び下さい。ご来場の際には、是非当社ブースにもお立ち寄りください。



当社スタッフ、協同出展社の皆様と



ベジフルスタジアム～生まれ変わった福岡の台所

2016年2月12日、福岡市東区のアイランドシティに巨大青果市場「ベジフルスタジアム」がオープンした。同市場は福岡市にあった三つの青果市場を統合したもので、敷地面積150,000平方メートルとヤフオクドームの2倍以上の広さを誇り、1日当たり平均1,200トン、年間で約320,000トン、約400～500種の青果物を取り扱う。港湾エリアにも近く、アジアを視野に入れた九州の青果物流通拠点を目指している。

ベジフルスタジアムのロゴは、青果物を表す「ベジタブル」と「フルーツ」を組み合わせたものに、市場の象徴である「競り（＝公正な競争）」が行われる場所を「スタジアム」になぞらえて組み合わせたものだ。九州のシルエットを演出することで「九州発」であることを明示している。左上の種子はアイランドシティに立地するベジフルスタジアムを表し、葉が青果物を集め種子へ入ってくるイメージを表すと同時に、種子から出た芽は青果物が出荷されるイメージを表している。



このベジフルスタジアムには大きな三つの特徴があり、まず一つ目として卸売場の84.4%に当たる約10,000平方メートルが密閉式の定温卸売場として整備されていることで、これまでの市場に比べて7倍の面積となり、国内でも最大規模となる。これによって青果物の鮮度を格段に向上させることができるようになった。

二つ目は充実した検査体制が整っていることで、市場に出荷された青果物の残留農薬検査は勿論、全国に先駆けて実施していた出荷前の畑にある段階での残留農薬検査を、これまでの市内産だけではなく市外産にまで拡大させた。これによって今まで以上に安全・安心な青果物を供給することが可能となった。

三つ目の特徴は、物流拠点であるアイランドシティの港湾エリアに立地しているということだ。CO₂や湿度の調整が可能な冷蔵コンテナを本格的に活用することで、傷みやすいイチゴや葉物野菜など、これまで船による輸送には向かなかった青果物を、空輸と比較しておおよそ10分の1の費用で済む船便でアジア・世界へと大量に輸出することが可能となった。



ベジフルスタジアムは卸売場西棟、卸売場東棟、青果市場会館棟と大きく三つの棟に分かれており、効率的な物流を第一に施設と業者の配置を行っている。卸売場西棟では大量取引を前提に、店舗面積の大きな仲卸業者を配置すると共に中央部には幅20メートル、長さ220メートルの入荷用通路を設けたことにより、10トトラック20台が同時に荷卸しを行うことができる。

卸売場東棟は小売業者に必要な機能である「競り」を行う卸売場、積込所、小口冷蔵庫および店舗売りを中心とした卸業者を配置することで、同一施設内での買い出しを可能にした。卸売場東棟では一般客も2階見学用通路から競りの見学が可能となっている。青果市場会館棟では市場開放などのイベントが実施できるようになっているほか、日用雑貨、菓子、花などの店舗や、飲食店など約30店が軒を連ねており、一部を除いて一般客も利用できる。

九州菱肥会では、会員各位に生まれ変わった福岡の台所を知って頂こうと、来年2月にベジフルスタジアムの視察を予定しているので奮ってご参加ください。

《 創立記念休業日のご案内 》

来る **10月21日（金）は弊社創立記念休業日**とさせていただきます。皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、ご注文等のご連絡はお早目に頂けます様、お願い申し上げます。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>